

あなたに

出逢えて：

— 第二十九号 —

こんばんは。

十一月の春美会を、初めさせていただきたいと思います。

急に寒くなりましたので、体調も壊されている方もいらっしゃると思いますが、この冬もなんとか身も心も暖かい気持ちで乗り越えたいと思いますので、今日のお話を糧にしてあと二ヶ月弱過ぎしていきたいとおもいます。
では、先生 よろしく願います。

— 春美先生 —

今年四月に鹿児島の方とご縁を頂いて、来月の春美会は鹿児島でという話がどんどん、どんどん進んでいき、そして本当に不思議で二十一観音経をさしていただいてその次に三十三観音経で皆さんのお手元に届けばいいなどおもっております。

本当に一生懸命書かせて頂いてるんですけど使う方によって、どう生かされ



ていくのかしらみたいな感じがします。やはり北奥先生がいらっしやって観音様のお話をなさってお写真を送ってくださってそれから流れが、お観音様お観音様になつてきたと思います。

今日も凄くいろんな方からお電話とかメール頂いて、その方たちの色んな物を取りますので相当きつい、と言つても・・私が色んな方を存じあげてご縁頂いてるんですけど、その方でさえ私の受けたものを取って下さる方がいらっしやなくて、どの方を頼つたらいいのかなと・・。

人間的にはいらっしやらないなどずっと思つていてやはり一番強く感じたのは、天照大神で太陽だと思いました。

太陽というのは凄く普段もみんなに平等にエネルギーを与えるんじゃないかなどつくづく思いました。結局私は、いろんな物を受けて掃除機みたいにみんなの色んな物をいっぱいいっぱい取って、どんどん詰まっちゃって結局私も取ってしまつて出す訳ですよね。それには、何かが必要で太陽の力って強いよなつて・・やっぱり天照大神、太陽だなつて・・

太陽は悪いのも取ってもらえるけど、いいのも与えて下さる。だから、人間がそこに焦点をあわせたら、太陽エネルギーはすごいんじゃないかと思いました。

毎日毎日が経験で、すべて実践で

私の場合は、色んな事を経験させられて人間として一瞬考えるんですけどゆだねるんですよ。見えない何かに・・・その時に春美会の皆さんに絶対本当力つけてほしいな。

私はどんな事しても伝授していきたいし、伝えてたいし、自分の持っているものを皆さんに全部あげたいので、みんな強くなっていけばいいな。力つけばいいなと本当に自分に何かあったときにでもさっとはらせるような心や気力とかエネルギーがあればどんなにいいかなと思いました。やはりそういう見えな力は、日々の生活の中で最終的に絶対掴めると思います。ここにおられる方は毎月毎月このようにして年間十二回、仮に十年続けたら百二十回繰り返し繰り返したら自分のものにして力がついてくるとおもいます。

やはり中身じゃないかと思えます。だから一番大事なのは自分自身が持つっているその心、心の根っこの所だと思えます。私は繰り返し繰り返し同じ事を言っています。実際は一人でも多くの方にせめてここに集まってらっしゃる方は普通の方と違う何かをもってほしいとおもいますがとてもいつもあります。

どうしても本当に力つけてほしいなと、そうしたら自分自身の開拓もできますし色んな考えがそのままでありながら、こんな考えに変わったと知らない間に

変わっていく。不思議な何かがあると思います。その為の繰り返し繰り返しのこの春美会だと思います。

春美会の最初から思いましたら、皆さん向上心をおもちになられて皆さん頑張られているから私も頑張らなくてはという気持ちが強くなり強くなられてこられたので、私自身は有難く嬉しいことだと思っております。

コツコツコツコツと知らない間に自分の物にして、その自分の持つてるものが出るか出ないかなんです。

病でもなんでもそうなんですけど病の根、癌細胞でもほとんどの人が持つているんだけどでる人とでない人がいるんですよ。なにかのきっかけなんです。私みたいな独特な能力も、もってらっしゃるんです。それをどうやって出すかなんです。

それは実践しかないと思うんですよ。

大事な事だけしつかり頭に入れておかれて、「あの時先生が、教え下さった事を実践しよう。」という繰り返しが、知らない間に知らぬ間に「あーそうだったんだ。」と気づかされていただくんだと思います。

やはり毎回毎回同じですけど、ちよつとでも一步一步近づいていってほしいと思います。

常盤さんが変わられたのは、心が相当変わられたからなんです。

考えたりする事。

思ったりする事

人に対しての仕方。

人に対しての考え方。

色んな事が少しずつじわじわ変わっていかれたんですね。

結局常盤さんは、手本を見させてくれているのでやはりそれに近づいていけると思うんですよね。本当に一ヶ月一回の貴重な何時間、一ヶ月分しっかり吸収していただいて、得てほしいと思います。これは訓練だともいいます。

これまで、春美会にきていただいた講師の先生方は必ず『空気がいい！』とか『皆さんが本当に純粋な気持ちで学んでいらっしゃる』とか色んな言葉をきかせて頂くとやはり私のやってきた事は無駄じゃなかったと思います。毎月毎月不安でこれでもいいのかなと思いつながら、でも歩んで一回一回してきた事がなんらかの形でプラスになつてるなと思います。

上をみたらきりがいいから、兆がつく事は出来ないと思いますが、それでもなおかつ自分自身が持っている。しなければいけない、生まれた時に定められた約束、それだけは皆さんでできる様になつてほしいとおもいます。



私はどなたに対しても平等で、やはりその方の精神。精神が強くなれば切り抜けられるしある程度力がある方だけではなくて、全然なんにもわからない人にもおしえていくのが本当じゃないかなというも思うので、遙さんにも声かけて強くなつてほしかったから・・・

だけでも以前は遙さんみたいだったけど乗り越えてきてあるんで本当春美会は小さな小さな箱なんだけど中身が本当に濃いのでやっぱり一番大事だなとも思います。

色んな方とご縁がありますので色んな方を存じ上げてるんですけど、春美会はまったく

「無」からなつた会なので私は凄く愛情があるし胸いっぱいになるしみんなが、みんなそれぞれに愛情をもつてほしい。いつも思いますね。それは顔に、心にてでくるんで顔が柔和になつてきたりするわけですよ。私自身も百パーセントじゃないもので本当まだまだなんですけど、それでも自分のもっている力を注げたら有難いという気持ちです。

だから春美会があるから絶対悪い事できない。心も悪い心使っちゃ事いけないし、悪い行いも出来ない。汚い事もできない。純粹に三歳心のきれいな気持ちでいなければいけないと思いますね。やはり私の背中をみられる方もおられる

とおもうので自分自身が注意していかねばいけないと思っています。私がいつも『エネルギーを、あげます。あげます。』といいますが、エネルギーというのはその人の心の持ち方ひとつで、もうたくさんいっぱいもらえる人もいると思うし何もわからなかったという人も色々いると思います。

でもここにいらっしゃる事はその時点において学ぼうと気持ちだけだと思うんですね

だからその時点ではほとんど合格だとおもうんですよね。ここに出席されただけでも凄いと私は思います。そこにおいてどれだけ自分の器の中に入れていくかなんですよね。

入れ方もどうなんだろうというのがそれぞれおありだと思うんですけど、これは実践なんですよね。回数重ねていって・・・最終的に自分のやってきた事が恥ずかしくなってきたりするんですよね。ああいうミスはしたくないとか、ああいう考えは愚かだとか、こういう考えしたら見えない神様に叱られるんじゃないとか色んな心が出てくるんだとおもうんですよね。そこで平気だった事が恥ずかしくなるってことは凄く反省なんですよね。

本当に助けてほしいじゃなくて助けてあげます側になってる方が多いとおもうんですよね。

だからせめて家族に對してだけでもそういう心でいて欲しいというのはありますね。それがとても強いですよ。

ちっちゃい細かい事は自分で処理できる力はお持ちなのでその上のことを、知ってほしいですね。

それを強制的にそうしなきゃいけないじゃなくて、薄紙を重ねるごとく、最終的にある程度年齢きた時には、「ああ良かったな、こういう人生で良かったな。自分は生かされて良かったな。親にも孝行出来た。子供にも出来た、周りにも。」って。

やはりそこになって行くには、今くらいの年齢から少しずつ歩んで行かないと。

世の中の人って意外と自分が可愛い、自分さえ良かったらとか、そういう人が物凄く氾濫しているでしょう。

だから、せめて春美会の方たちは、馬鹿正直に生きる事はないんですよ。損をしなさいという事ではないんですよ。お人よしになんなさいという事ではないんですよ。

その気持ちという事なんですよ。

そうすると何事があっても、色んな天災がきたり何かがあっても、皆心が病んでしまった時に、自分はこうなのよと慰めの言葉が出たりとか、そういう事が出来るから。

それは春美会に来てらっしゃる方は、天からある程度は命令されていると思うんですよね。

小さい小さい集まりだけれども、よそから来た人は、「輝いている」とか、「空気が良いですね。とってもいい空気ですね」と言われるし、ほとんどわかる方がおっしゃるから。それは皆の心がじわじわそういう気持ちで居たいなという事になって、一ヶ月の何時間の勉強なんですよね。訓練なんですよね。

ここでしっかり耳でしっかり聞いて胸で抑えて、少しずつインプットしていくんです。いっぺんにじゃなくて、少しずつ重ねていく。

でもこういう風に重ねていると、いざという時に強いんですよね。

自分がものにして胸に入れる、訓練。

これを重ねていつて何年か経って、「昔に戻りたくない」と言われる方とかいらっしゃるじゃないですか。そこなんですよね。

絶対前進しているんですよね。昔よりも前進。

悪口とか言う方とかいらっしゃるじゃないですか、そういう事に対して一緒

になって話すとかなくなるだろうし、きちつと割り切れるでしょう。でもどちらかと言うと女はおしゃべりも好きだし、そういう話にのって。でも春美会の方たちはまずそれは無いと思うんですよね。そういう事は恥ずかしい事だし。私はすぐ神様に怒られるから。

「母の声は神の声、母の声は神の声」

と自分に言い聞かせるんですよ。私も絶えず試練なんですよね。

何か事がある時に、「あの時こう言われたよね。こういう時は我慢しないといけないね」って、そうすると我慢がスーッと出来るようになるんですよね。

我慢はきついからね。苦しいからね。

でも、そうじゃないんだって、そういう何かがあるんだって、答えがちゃんとあるんだって。これが当たり前になってくると、苦しい、震えたく苦しい時にのりきれる。

それに一番の早道は「人に愛情を与える事」「人を喜ばす事」「人を抱き抱える事」なんですよね。



「私苦しいです」と言うのはまだ自分が可愛いのよね。

そうじゃなくて、「自分以上にもっと苦しい人がいる。春美会の人は何も言わないけど、あの人は悲しんでいるんだ。あの人に幸せになつて欲しい」と思う心が一番大事なんですよ。

そうなると既に、あんな事で悩んで自分はつまんないな、乗り越えなきゃいけないって我に返れるわけですよ。ここが一番大事なんですよ。

十二月に鹿児島に行かせていただく所にお観音様が鎮座されていらっしゃるのので皆さんにお観音様の前で波動をとってエネルギーをいれさせていたただきたいと思います。

私はつくづく本当に媒体者としてこんな有難い役目はないなど、人間として冥利につきる位に有難さを感じますし神様に感謝します。

生きている間媒体者としてお一人お一人凄く大きなものをどんどん与えるお手伝いをさせて頂きたいとおもっていますので、皆さんも一歩も二歩も十歩位心があがつてほしいとなど、一年分の「何か」を得て欲しいとおもっておりますので、鹿児島にいく前には、中途半端な気持ちではなくって新たな気持ちで日々を送つてほしいと思います。そうすると入り口が開きますし、針の穴

ぐらいの入り口だったらエネルギーがちょっとしか入らないですけど、やはり大きい大きいなるべく大きいバンとしたものがあればそれだけ必ず入るんですよね。受け皿が入ったら必ず入る訳なんですよね。私もそのつもりで、はまっ
ていこうと思っているので一年間の終結みたいな感じですね。
そして来年の一月はまた新たにそれぞれに色々な意味で変化があつてほしいと思います。

来年を新しく迎える時に対しての十二月の最終的な総締めくくりのような気がいたします。

そして春美会の今までの長い年月の締めくくりの様な気がします。どうしても色々な事情でいけない方には本当に申し訳ありませんが、気持ちには皆さん一緒なのでしつかりもっていきます。遠隔でお名前を書いてメールか電話でお時間をお知らせして同時進行で全員させていただきます。

春美会の延長という事で学びの場所であり学習、だから覚悟して春美会という理をしよっていくので真剣に行きたいと思つています。

私はなんとかしてなんとかして力そそぎたい。

みんなお一人お一人に力そそぎたい。とひしひしと感じています。

ただただ媒体者としてこれからも生きている限り力がある限りは役目をはたしていかなければいけないとおもっています。そういう腹づもりの心を持ってくださいということをおみなさんに伝えたくてお話ししました。自分自身がっかりしたものをもっていれば何事があっても人間としての芯の強さをしっかもっていたならば強いと思うんです。

そういう時にはつきりわかると思うんですよ。せめて明暗があつたときの態度とか心根が・・・

毎月毎月ここにいらっしゃる方はそのところはしっかり胸にはった位のきもちを作っていったほうがいいと思います。来年の為皆さんに私はもつともつと心の飛躍をしてほしいと願っていますので私はおしませんでどうぞ宜しくおねがいします。



*
*
*
*
*

*
*
*
*
*

— あとがき —

人様を助けさせて頂いて初めて自分。

自分が幸せじや駄目。

勿論、自分の幸せも必要。

でも人を助け、人を喜ばす、人を慈悲の心で包む、

その心で居て自分が幸せ。



第四十四回春美会

会場 魚一

日時 平成十八年十一月十三日七時半 より

— 司会・紫苑 —

*
*
*
*
*